

叙勲・褒章

2025 秋

不断の努力と
永年の功績が認められ

旭日双光章（地方自治功勞）



岩淵 勇一 さん
(中田町巻・78歳)

1989年中田町議会議員に当選以来、登米市議会議員を含めた19年11カ月にわたり、地域発展に貢献。94年議会運営委員会委員長、97年総務

常任委員会委員長を歴任し、活発な委員会活動と円滑な運営に注力しました。豊富な経験で、地方自治の発展と住民福祉の向上に尽力しました。

旭日双光章（地方自治功勞）



佐々木 一 さん
(豊里町大曲・70歳)

1996年豊里町議会議員に当選以来、登米市議会議員を含めた20年8カ月にわたり、地域発展に貢献。2009年産業経済常任委員会委員長、

13年議会運営委員会委員長を歴任し、活発な委員会活動に注力しました。高い政治信念をもって地方自治の発展と住民福祉の向上に尽力しました。

瑞宝双光章（社会福祉功勞）



小野寺 富美子 さん
(中田町浅水新田・67歳)

1987年に中田町社会福祉協議会(2005年に合併し市社会福祉協議会)職員となり、老人家庭奉仕員や看護師として勤務。13年本部介護福祉

課介護福祉係長兼障害者ケアホーム管理者兼生活支援員、特別養護老人ホーム施設長を歴任し、地域の福祉の向上に尽力しました。

瑞宝双光章（消防功勞）



佐々木 敬之 さん
(迫町仮屋・65歳)

1978年登米地域広域行政事務組合に入庁。2018年に登米市消防署長に就任し、部隊の統括調整をするともに、火災予防思想の普及啓発

や消防行政の資質向上に貢献しました。20年に退職するまでの41年9カ月間、住民の生命と地域財産の保護、地域防災力の向上に尽力しました。

瑞宝単光章（消防功勞）



猪俣 徳昭 さん
(中田町並柳・71歳)

1980年中田町消防団に入団。2016年登米市消防団分団長、18年同副団長に就任し、地域防災の確立に貢献しました。20年に退団するまで

の39年10カ月間、団員の消防技術の向上などに寄与し、住民生命と財産の保護、消防技術および地域防災力の向上に尽力しました。

瑞宝単光章（消防功勞）



西條 芳夫 さん
(津山町横山11区・70歳)

1984年津山町消防団に入団。2010年登米市消防団分団長、18年同副団長に就任し、地域防災の確立に貢献しました。22年に退団するまで

の38年間、団員の育成指導、防火思想の普及高揚などに寄与し、住民生命と財産の保護、消防技術および地域防災力の向上に尽力しました。

瑞宝単光章（消防功勞）



佐々木 繁己 さん
(豊里町鶴波・72歳)

1978年豊里町消防団に入団。2010年登米市消防団分団長、18年同副団長に就任し、地域防災の確立に貢献しました。24年に退団するまで

の46年間、災害防止、消防設備の整備拡充などに寄与し、住民生命と財産の保護、消防技術および地域防災力の向上に尽力しました。

瑞宝単光章（看護業務功勞）



畠山 純子 さん
(中田町上沼新田・67歳)

1986年に宮城県職員となり、県立瀬峰病院(2003年に県立循環器・呼吸器病センターに改称)に勤務。11年同病院看護部上席主任看護師兼

看護師長、13年同病院看護部副部長、14年同病院看護部長を歴任し、看護業務、看護教育および県立病院の健全な運営に尽力しました。

藍綬褒章



小野寺 篤朗 さん
(中田町冠木・71歳)

1981年佐沼地区交通安全協会上沼支部代議員として交通安全活動を開始。2005年同支部長、10年佐沼地区交通安全協会副会長を歴任し、

14年同会長、宮城県交通安全協会理事に就任し、地域における交通安全意識の高揚、交通事故防止の啓発および後進の育成などに尽力しました。

ヤマカノ醸造が農林水産大臣賞受賞

「第52回全国醤油品評会」(日本醤油協会主催)が10月1日に開かれ、ヤマカノ醸造の濃口しょうゆ「純正」が、全国から応募のあった303点の中から、最高賞の農林水産大臣賞を受賞しました。

同社は、最高品質の生産体制を整えるために、2022年からプロジェクトチームを発足。最高賞を受賞した他社のしょうゆを研究しながら、データに基づいた品質

向上に務めてきました。

品評会では、香りの良さに加えて、色合いの美しさ、まろやかな味わいが高く評価されました。同社の鈴木彦衛代表取締役社長は、「『チームヤマカノ』が一丸となって取り組んだ成果が評価され、初の受賞となり感無量です。みそとしょうゆの両方で日本一を目指して、これからも技術を磨いていきます」と、喜びを語りました。



▲受賞報告のために熊谷康信市長を表敬訪問した鈴木社長(右)

▶受賞した「純正」は、芳醇な香りが特徴

